

湯気がをり
光やはらぐ
上本町



Do small things in a great way

ZENIYA
&
LIFE

— 最高の普通を —



銭屋カフェー オリジナルマグカップで飲む金曜日限定！サイフォンコーヒー



ゼニヤの
キホン

Principle of
ZENIYA

昭和の喫茶店文化に息づく、 町の居場所

前号でミックスジュースの思い出から商品開発までを書きながら、昭和時代の喫茶店について考えました。今回は、触れきれなかった昭和の喫茶店文化についてまとめます。

昭和の喫茶店は、単なる飲食の場ではなく、人々の生活に深く根付いた文化でした。柔らかな電球の光に照らされた店内には漫画や新聞、将棋盤などが並び、客は時間を忘れて過ごすことができました。店主と常連客の自然な会話や、顔なじみ同士の交流は、現代のカフェにも求められる「居心地の良さ」や「コミュニティ形成」の原型と言えるでしょう。当時の町には、個人経営の喫茶店が数多く存在し、それぞれが独自の個性と工夫を持っていた。地域に根ざした「第三の居場所」として機能していたのです。学生が集まりやすい店、仕事帰り（仕事か？）のサラリーマンが休む店、高齢者や家族連れが安心

銭屋カフェオープン前夜

して入れる店、行き場のない子どもたちの拠り所となる店など、町の多様なニーズに応えていました。喫茶店は「町ごとに顔を持つ存在」だったのです。一方で現代は、チェーン店が全国に広がり、どこでも同じサービスを受けられる便利さはあるものの、地域や利用者に合わせた細やかな個性は薄れつつあります。現代のカフェは利便性の追求によって誰でも入りやすい雰囲気を用意していますが、地域に深く根付いたコミュニティ形成にはまだ課題があります。常連客を大切にする姿勢や地域イベントとの連携など、昭和の喫茶店に学ぶ「地域とのつながり」は、居場所としてのカフェの魅力を高めるうえで大切にしたいものです。昭和の喫茶店から学べるのは、単なる飲食にとどまらず、滞在そのものを価値ある体験に変える工夫です。棚に本や雑誌を置く、店主やスタッフとの会話を楽しむ、小規模な



展示やイベントを行うといった仕掛けは、現代のカフェでも心豊かな空間づくりにつながります。さらに昭和の喫茶店文化は「五感で楽しむ空間」を大切にしていました。店主の趣味を反映したレコードから流れるジャズやクラシック、手作りスイーツ、温かみのある照明や家具など、香り・音・触感・視覚に訴える演出は、効率重視の現代カフェでは見落とされがちです。こうした工夫を加えることで、訪れる人々に記憶に残る体験を提供できると思っています。

結局のところ、昭和の喫茶店から現代のカフェが学ぶべきは、飲食や空間そのもの以上に、時間や人を共有する場であるという原点です。効率を求めてつくられたお店には効率を求める人が集まるのは当然ですが、生活の場としての町には、心地よさや人とのつながりを求める人のためのお店も必要です。銭屋カフェは11月13日で10周年を迎えます。皆さまの日常に、その役割を担うお店でありたいと願います。（文・正木）



初期の銭屋カフェ



ゼニヤの
ホンキ

Earnest of
ZENIYA



Information

《イベント》
銭屋の秋
大人の文化祭

日 時
2025年11月2日(日) & 3日(月・祝)
11:00~16:00

会 場
銭屋ギャラリー
(銭屋本舗本館1階)
銭屋サロン
(銭屋本舗本館4階)



◀ イベントの詳細は
コチラから

本気だからこそ伝わる。
伝えたいから本気になる。
どちらも大切にしてお届けします。



銭屋塾の魅力が ぎゅっと詰まった文化祭

忘れがちであったり、意識していないと失ってしまいそうな大切な価値。それを再発見するきっかけとなるのが『銭屋塾』です。私たちは「いつもの暮らしをワンランクアップさせる、ヒントが詰まった大人のまなび場」と考えています。

ちよっと特別な 大人の文化祭

紅葉が街を染め、空気に冬の気配が混じり始める11月。料理、手芸・工芸、運動、文学…。日々のレッスンを通して、「この想いをもっと知ってほしい」、「レッスンを気軽に体験できる時間を届けたい」、「銭屋塾に参加してくださる皆さんの活動披露の場をつくりたい」——そんな想いから『銭屋の秋〜大人の文化祭〜』を開催します。

プロと楽しむパン作りや素材の美しさにこだわったアクセサリー作りなど、文化祭限定の特別講座を開催。また、特製のお弁当・お菓子・パン・講師おすすめの調味料・アク

セサリーなど、文化祭でしか出会えない品々も販売します。かつて学生時代に胸を躍らせた文化祭の記憶を懐かしく思い出しながら、

今の私たちにちょうどいい文化との出会いをお届けします。

香りや食、手仕事の美しさ、五感を通じて秋を味わい、心をほぐく時間を。喧騒から少し離れて、自分のペースで楽しめる『大人の文化祭』です。

日常の延長でありつつも、日常では味わえない新しい視点を探る体験を。「ちよっとやってみたい」「こんなことに興味があった」という好奇心を満たすチャンス。

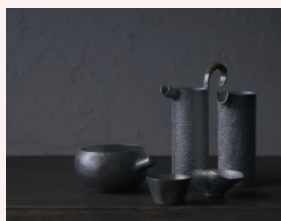
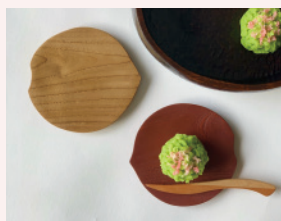
また、秋の文化祭を楽しむに集まった人たちとの新しい出会いや会話もきつと素敵な時間になるでしょう。

大人になってからの文化祭も、こんなに自由で楽しいんだ！そう感じてもらえる一日をお届けします。

気軽に遊びにきて、ゆったりとした時間を過ごしませんか？

(文・宮田)




 アトリエカンタ
錫

 木工七木
木工

 時平
点心、月餅

 TOU-器と薬草茶-
陶、ハーブティー


4人の作家が集う、 特別な合同展

古代中国の自然哲学における「木」「火」「土」「金」「水」「五行」。これらは万物を構成する基本要素と言われており、互いにバランスを取りながら循環すると考えられています。本イベントでは、木工・錫・陶器とハーブティー・点心や月餅：それぞれ4人の作家さんたちと、五行の要素からなる作品&食を通して、豊かな暮らしを提案いたします。

会期中、ハーブティーと月餅のカフェセットや、11月2日(日)には夜フード
もお楽しみいただけますよ。点心5種、薬膳小鉢3品の夜フードは10名様限定となりますので、ご予約はお早めに！
(文・尾松)



《イベント》 五行のしずく

～手仕事で感じる自然のいとなみ～

日時：10月31日(金)～11月3日(月・祝)
11:30-17:00
※11月2日(日)のみ11:30-19:30
場所：銭屋ベース ソンラソウ

\\ 詳細はコチラ! /



大人だって、
もっと自由に学び、
楽しもう！



料理、手芸・工芸、運動、文学など、日々沢山の講座を開講している銭屋塾。レッスンの一部を気軽に体験してもらえたら...と思います、今年も開催します！
特別ランチBOXや作品展示・販売、この日だけの限定ワークショップを企画しています。食べたり、見たり、学んだり。好奇心を刺激する2日間、ぜひご参加ください。
(文・宮田)

《イベント》

銭屋の秋～大人の文化祭～

日時：11月2日(日) & 3日(月・祝) 11:00～16:00
場所：銭屋ギャラリー、銭屋サロン

\\ 詳細はコチラ! /



上方落語と食の世界



毎日新聞夕刊連載『落語食堂』で、上方落語に登場する食に着想を得た料理を

匠とのエピソード、上方落語のお披露目もお楽しみに！
(文・小山)

食し、お喋りを担当した桂吉坊さん。今回は、様々な知見と嗜家ならではの視点を交え、上方の食文化を考察します。内弟子時代の食をめぐる米朝師

《上方食文化研究会 第3回公開サロン》
古典芸能通の上方落語家・桂 吉坊さんに学ぶ
『上方を巡る 食文化』

日時：11月1日(土)
開場 14:00 / 開演 14:30～
場所：うえほんまち銭屋ホール

\\ 詳細はコチラ! /





思い出の読書をシェア



今回のテーマは、**思い出の1冊**。
あなたにとって「忘れられない本」「人生の転機になった本」「誰かと共有したい思い出の本」はありますか？参加者それぞれが思い出の1冊を持ち寄り、その魅力やエピソードを語り合いたいと思います。
心が温まる時間になりますように。

(文・小山)

《イベント》

銭屋本舗本館 本の虫クラブ 11月

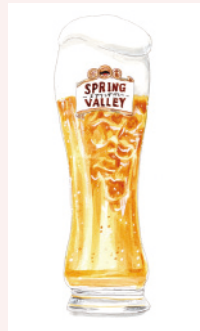
日時：11月30日(日) 11:00~12:30
場所：銭屋ギャラリー

\\ 詳細はコチラ! /



おいしい絵に会いに行こう！

毎年恒例！銭屋カフェー『折々のクッキー缶』イラストでおなじみの山口さおりさんによる展示販売会を、銭屋ギャラリーにて開催します。美味しいもんズ



ケッチや屋久杉作品、2026年カレンダーや銭屋プリン缶バッジも登場予定。会期中は終日在廊されます。ぜひお声がけください。

(文・小山)

《展示販売会》

SAORI ART 第8回

『屋久杉と美味しいもんスケッチ展』

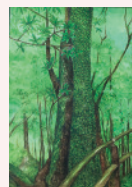
日時：11月20日(木)~23日(日)

11:30~20:00

*最終日のみ17:00迄

場所：銭屋ギャラリー

\\ 詳細はコチラ! /



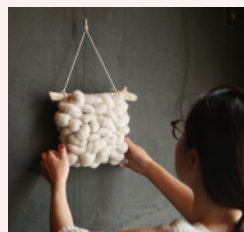
羊毛アイテムで冬支度 コラボスイーツも！



作家coyaさんが生み出す、ふわふわの羊毛をたっぷりを使用した、愛らしいタペストリーやアクセサリー、新作のラグが銭屋ベースソラソウに並びます。テーマは『ふゆうら』。俳句では冬の季語として用いられる言葉です。厳しい寒さでも、羊毛のアイテムを暮らしに取り入れることで、おうちでの時間を愉しく温かく過ごせたら！そんな想いを込めました。空間に優しさや癒しを生み出してくれる、coyaさんにしか作れない作品

の数々をご堪能ください。今回のイベントに合わせ、カフェ Pet de nonneさんのコラボが決定！coyaさんの作品からイメージしたスイーツを考案いただきます。会期中、お召し上がりいただけますので、ぜひ併せてお楽しみください。

(文・尾松)



《イベント》

coya展~ふゆうら~

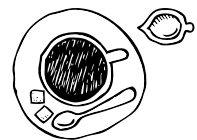
日時：11月15日(土)~23日(日) 11:30~17:00

※11月17日(月)はお休み

場所：銭屋ベース ソラソウ

\\ 詳細はコチラ! /





ちょっとした時間、
ちゃんとした美味しさを

銭屋カフェーの新定番！ 想いを込めた 「ミックスジュース」登場



ミックスジュース
¥800(税込)

9月に3日間限定で開催された、ダイヤ製パンさんのコラボ。大阪といえどという観点でミックスジュースを題材にしたコラボ企画が8月の初めごろから始動しました。

ミックスジュースは、銭屋カフェーで出したいと願っていた一杯。そこにはちょっとしたこだわりがありました。黄桃は必ず使用し、みかんや黄桃の缶詰シロップ（酸化防止剤不使用）も加える。どのフルーツの味も感じられるが、どれも主張しすぎない絶妙なバランスに。

試作を何度も重ね、ようやく理想の味にたどり着きました。そして迎えたコラボイベントは、おかげさまで大盛況。「また飲みたい！」というたくさんの嬉しいお声をいただきました。その反響にお応えし、このミックスジュースが銭屋カフェー定番メニューとして販売開始します。ぜひ一度、お試しください。

（文・八尾田）



試作中

銭屋の魅力が詰まった アフタヌーンティー

穏やかな風が吹く季節。夜分には寒さを覚え、季節の移ろいを感じますね。

今回皆様にご紹介したいのが、銭屋カフェー初の試み！『お重のアフタヌーンティー』です。皆様アフタヌーンティーと聞いてイメージするのはどのようなものでしょうか？

おそらく多くの方が思い浮かべるのは、ティースタンドに並んだサンドイッチやスコーンでは？ですが、私たちがご用意するのは従来のものとは違います。

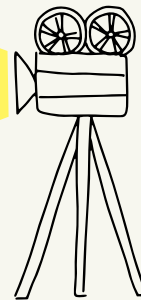
メインになるものはティースタンドでは無く、お重の中に！お重を開くと、そこには小さな銭屋カフェーの物語。

サンドイッチやスコーン、ケーキ…。銭屋の魅力が詰まるよう、お重をはじめ、ティーカップや器の魅力を際立たせられるようにに沢山の試作を重ねてきました。

和と洋が調和しながら、どこか懐かしく、どこか新しい…。そんな時間を家族や友人、恋人、大切な人と過ごせますように。

（文・岡田）

銭屋シネマ



～ちょっと考えてみたいこと～

- チケット代
大人：1,800円
学生：1,000円 ※学生証が必要です
- お問い合わせ
銭屋本舗 06-6772-1245

ようこそ銭屋シネマへ。ここは映画館ではない空間。
シネマコンプレックスでは流さない“ちょっと特別な映画”を、
コーヒー片手にゆっくりお楽しみください。

ご予約・作品情報は
コチラ



地球のウラガワのこと「知らない」
ままじゃもつたない。無関係な世界
は、今あなたが見えている景色を少し
変えてくれるかもしれない。そして新
しい自分に出会えるかもしれない。

銭屋シネマ
11/15 [土]
18:00～



幸せの経済学

あなたは、「豊かさ」をどんなものさしではかりますか？ お金を持っていることでしょうか。
便利で、快適な暮らしを送ることでしょうか。

制作：The International Society for Ecology and Culture (ISEC) / プロデューサー：ヘレナ・ノーバーグ＝ホッジ（ISECの代表者） / 配給：ユナイテッドピープル / 公開：2010年 / 製作国：アメリカ、ニカラグア、フランス、ドイツ、イギリス、オーストラリア、インド、タイ、日本、中国 / 時間：68分



今、問われる幸せとは？ 真の豊かさとは？ #共感できる人とつながる

この映画は、人や自然とのつながりを取り戻す暮らし方を探るドキュメンタリーです。

グローバルゼーションから ローカリゼーションへ

世界に広がるローカリゼーション運動のパイオニア、ヘレナ・ノーバーグ＝ホッジが、人と自然とのつながりを取り戻すための新しい道を提唱します。ヒマラヤの辺境ラダックで起こった近代化の影響をはじめ、日本の小川町やキューバの取り組みなど、各地の事例を通して「持続可能な暮らし」の可能性を描きま

す。行き過ぎたグローバル経済から離れ、持続可能で幸せな暮らしをどう築いていけるのか、そのヒントを与えてくれる作品です。

映画を見たお客さんの声

「資本主義やグローバルゼーションの負の側面を描くだけでなく、新しい世界を生み出す芽吹きを感じられる内容でした。希望と勇気を与えてくれる素晴らしい作品です。」

「初めて知った『ローカリゼーション』という考え方。長く抱

えていた、なぜか満たされないというモヤモヤに、解決の糸口を示してくれました。まずは自分の町から見直したいと思います。」

「人と人、人と自然との直接的なつながりの大切さを改めて感じました。地域という小さなコミュニティの積み重ねこそ、本当の幸せにつながるのではないのでしょうか。」

上映後は「本当の豊かさ」とは何か、意見を交わしながら一緒に考えてみましょう！
(文・小山)

11/14(金)

午前の部11:00-12:00

午後の部13:00-14:00

美姿声講座

講師／横山紀江

参加費／初回体験2,000円

2回目以降3,000円

声のプロから美しい姿勢と呼吸法を学びます。フェイスラインを整え、ご自身の本来の声を引き出し、内面の美しさも

一緒に整えていきます。声に自信を持ちたい方、表情を明るく変化させたい方、若返りしたい方ぜひご体感ください！



Culture & Life

11/6(木)

10:00-14:00

パン講座

講師／福島健治

参加費／7,000円(焼き立てパンランチ・紅茶付き・お持ち帰りあり)

大阪天満橋にある大人気の『Boulangerie FUKUSHIMA』。オーナーシェフ・福島健治氏による人気のパンレッスンです。テーマは『秋のパン』。パン屋さんだからこそお伝えできるパンの魅力をお伝えします。



Cooking

11/17(月)

11:00-14:00

〈季節の手仕事〉

野菜ソムリエの旬野菜講座

講師／野口知恵

参加費／6,500円(試食あり)

「1日1個のりんごは医者を選ばせる」と言われるほど、健康や美容にうれしい栄養もたっぷり。当日は栄養のお話

や、栽培の様子にも触れながら、普段あまり出回っていない品種を含めた食べ比べも予定しています。



Cooking

11/8(土)

午前の部10:30-12:30

午後の部13:30-15:30

ステンドグラス講座

講師／池田さとみ

参加費／6,600円

ステンドグラスとは、ガラスを組み合わせ、光を透かして楽しむガラス工芸です。光の当たり方で表情が変わるのが魅力です。数種類の白いガラスを使ったリーフリースをステンドグラスの技法で制作します。ガラス玉は何色かご用意しますので、お好きな色をお選びいただけます。クリスマスはもちろん、一年中飾って楽しめるシンプルなりーフリースです。



Culture & Life

11/18(火)

12:00-14:00

発酵講座

講師／畑中伸洋

参加費／6,500円(お持ち帰りあり)

発酵伝道師の畑中伸洋による『米みそ、白みそづくり講座』です。みそ作りに必要な生米糶・大豆・塩だけで

作るシンプルな味噌は身体によいだけでなく、おいしさがひと味もふた味も違います。白みそは麹の量が多いため、発酵が早く約1か月で完成し、来年のお正月には出来立ての白みそでお雑煮を作ることができます。米みそは、しっかり発酵熟成させて食べる味噌ですので4か月ほどで出来上がりです。



Cooking

11/13(木)

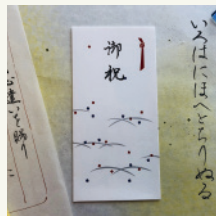
11:00-12:30

大人の美文字講座 ～文字を整える～

講師／紅秋

参加費／6,000円(銭屋カフェミニスイーツセット付)

月に一度、文字と向き合うひとときを。心がはずむ、毎日が潤う、書きたくなる美文字を書いてみませんか？



Culture & Life



ZENIYA

銭屋塾

2025.11/1～11/29

レッスン スケジュール



銭屋塾では、料理・文化・ものづくり・健康などに関する様々な講座を開催しております。集い、学び、体験することの素晴らしさを再発見してみたいでしょうか。

開催についての最新情報は銭屋塾Webサイトでご案内しております。



銭屋塾

11/4(火)

10:00-12:30

有田焼色絵付け講座

講師／伊賀恵理子

参加費／13,000円

今回のテーマは『ひょうたん』。四寸丸皿を2枚制作します。筆を器につけずに盛り絵の具をぷっくり盛って塗り



絵のように絵付けしていく不思議な技法を学びます。有田焼色絵付初体験の方にも最適です！



11/23(日)

11:00-12:30

エクササイズ& ウォーキング講座

講師／亀田智実

参加費／3,300円 ※『輪っかタオル』は初回無料貸出。ご購入の場合は1,000円

普段の姿勢を見直すことで、印象 UP、腰痛など関節痛が軽減！身体は楽に、心は楽しく！量より質！ただ歩いているだけではもったいない！正しい姿勢を身に付け、代謝率UPを一緒にしていきましょう。

11/10(月)・11/17(月)

19:30-20:30

踊る整体®ベリーダンス

講師／Emi

参加費／3,500円 (初回体験2,000円／月謝コース2回6,300円)

踊る整体としてのベリーダンスは、体の中の緊張をほぐし、心も穏やかに整えていくもの。流れるような動きとリズムが、内側からの美しさを引き出し、心の重荷や体のストレスをそっと解き放ちます。

11/6(木)・11/13(木)

11/20(木)・11/27(木)

13:30-14:30

ゆったり身体整えヨガ

講師／Se2ko

参加費／2,200円 (初回体験1,100円)

ヨガは運動初心者でも始めやすいエクササイズのひとつです。無理なくできるポーズやご自宅でもできるもの、ちょっとした身体の知識など、日常生活で活かせることを学びます。週に1回、1時間のヨガを習慣化していきましょう。

11/1(土)・11/6(木)

11/8(土)・11/13(木)・11/15(土)

11/27(木)・11/29(土)

木19:00-20:30／土10:30-11:50

コアポスチャー トレーニング

夜(木)／昼(土) クラス

講師／るみ

参加費／4,400円 (月謝コース2回7,800円、3回10,500円、4回12,000円)

中高年の方にピッタリのレッスン。ご自身の身体の歪みを理解し日常生活でも正しいポジションで生活をしていく事で骨の向きが変わります。そして骨の向きが変わると正しい筋肉が付き、気がつけば若い時以上にスタイルアップが期待できます！

11/27(火)

11:00-14:00

料理基礎講座

講師／小林咲子

参加費／6,500円 (試食、お持ち帰りあり)

料理の基礎を学ぶ『銭屋の台所』。煮物の基本・肉じゃがを学びます。料理の基礎をわかりやすく説明。小さな疑問で

も、すぐに質問できるから理解度が深まります。料理用語の意味、要領のよい手順、センスのよい盛り付けなど、ちょっとしたコツを知っていると料理が格段に楽しく、そして美味しくなります。1回完結のレッスンで、ここまでわかる！を実感してください。



11/29(土)

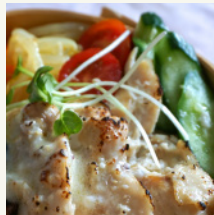
11:00-14:00

食べる美容

講師／吉岡春菜

参加費／7,500円 (試食・お土産あり)

発酵生活初心者さんのための講座。塩麹は、腸内環境を整え、代謝をサポートし、肌にも嬉しい『食べる美容液』。初心者の方でも安心して塩麹を仕込めるよう、基礎から丁寧に伝えします。仕込んだ塩麹はお持ち帰り、ご自宅ですぐに発酵生活をスタートできます。



11/29(土)

10:30-14:30

絵本刺繍作家 y-embroidery

主宰・高石由利子による

刺繍ワークショップ

講師／高石由利子

参加費／15,000円 (材料費含む)

絵本『くまのがっこう』の世界を、浮き彫り刺繍の技法で表現した特別なオーナメントをつくってみませんか？直径

10cmの球体をベースに、赤いリネンウールで包み込み、ぷっくりと立体感のある刺繍をほどこします。キャラクターがまるで絵本から飛び出てきたような温かみある仕上がり。ツリーに飾れば存在感抜群の特別なオーナメントになります。



©BANDAI

11/20(木)

11:00-14:00

和菓子講座

講師／吉岡みどり

参加費／7,800円 (試食、お持ち帰りあり)

わっぱに入れると更に見栄えする、彩り豊かなおはぎと季節に沿った練り切り 2 種類を作ります。初心者の方も、安心して和菓子作りをお楽しみいただけます。手のひらに収まる、上品で可愛い和菓子で素敵な時間を過ごしてください。



11/26(水)

午前の部10:30-13:00

午後の部14:00-16:30

フランス菓子講座

講師／石澤真依子

参加費／7,400円 (試食、お持ち帰りあり)

パリから来たお菓子講座。11月は『パリ風タルトタタン』。タルトタタン (Tarte Tatin) は、フランス生まれの伝統的なお菓子。バターと砂糖で炒めてキャラメリゼしたりんごを型の中に敷き詰めて焼き、生地の上にひっくり返してりんごの部分を上にして食べます。りんごの選び方から始まり、キャラメリゼの煮詰め具合、型への敷き込み方などポイントがたっぷり。



11/26(水)

10:30-11:30

健康ボイストレーニング

講師／辻本華鈴

参加費／初回体験2,000円
2回目以降3,000円

ボイストレーニングは、認知症予防や嚥下機能の向上に効果的です。元気に声を出せば、脳の血流を促し、記憶力や集中力も鍛えられます。どの年代の方も声を出して楽しく身体を動かして明るい毎日を過ごしていきましょう。





会議室 / 8席

面談室 / 4席

うえほんまち 銭屋ホール / 最大220席

セミナー室 / 20席

銭屋スタジオ

銭屋本舗のレンタルスペース

大阪上本町駅から、徒歩3分。
“ちょうどいい”レンタルスペース、あります。

清潔で管理が行き届いたレンタルスペースをお探しではないですか？

個人使いのパーティーから、企業の面接、弾き語りライブ、作品の展示会など…

用途に合わせて様々なお部屋をお選びいただけます。

詳しくはコチラ
相談、空き状況など
お気軽に問い合わせください。



ご利用までの流れ

1 空き状況の確認

ご希望の会場、日時、
人数、用途をお伝えく
ださい。

※用途により審査がございます。

2 申込書の提出

申込書をお送りしますの
で、内容をご確認いただき
ご提出ください。

※②の時点では仮予約となります。

3 ご入金

申込書・ご入金が整い
次第「予約完了」です。

4 当日

ご利用開始15分前に、
銭屋本舗本館2階事務所
へお越しください。

所在地

大阪府大阪市天王寺区
石ヶ辻町14-6

アクセス

近鉄大阪線・奈良線、大阪上本町駅より徒歩3分
大阪メトロ谷町線・千日前線、谷町九丁目駅より徒歩10分

お問い合わせ

☎ 06-6772-1245 (株) 銭屋本舗
✉ rental@zeniyahompo.com



割り切れぬ素数の孤独秋の声

上田久之

先生評 素数は割れる数がありません。誰も一緒に居てくれない素数を自分の孤独に例えているのでしょうか。秋の声の季語の斡旋も、そこはかとなく寂しい雰囲気醸し出しています。表現も斬新で文句なしの一句でした。

鞍上の鋭き一打秋に入る

勇魚白

先生評 流鏑馬なのか競馬なのか。馬上で鞍に乗った騎手が馬に鞭を入れたのです。立秋の日にそれを観た作者は、その一打で秋に入ったと感じたのです。躍動感とともに不思議な静けさを感じる一句となりました。

虫すだくポケットに鍵みつからぬ

篠さとみ

先生評 ポケットの鍵をさがしていると、沢山の虫の鳴き声が聞こえてきたという句。ポケットの鍵が見つからないイライラ感に虫の鳴き声にもイライラしている作者です。逆に、虫の鳴き声で落ち着いたとも読めます。

三姉妹母似早口鳳仙花

野菊

先生評 三姉妹の作者です。皆母似と言う事は、父親を除いてみんな女性なのでしょう。顔も似ているけれど早口の話し方も似ているのです。鳳仙花が弾ける様子と早口が良く合っています。

剃刀の鈍く煌めき秋湿り

和人

鑑賞 散髪屋さんでは、かつては剃刀を皮で研いでいましたね。シユツシユツと研いでいる時には何となく怖さもありました。革研の音・光る剃刀と秋湿りを取り合わせてみました。

季語のあれこれ

講師 原和人

【雁のこと】

●雁(晩秋)

傍題…かりがね、真雁、
初雁、雁渡る、雁鳴く

雁は晩秋に、北方から渡つて来るカモ科の大形の冬鳥です。

昔から、空を渡る雁の姿も雁行といつて親しまれてきました。また

雁を「かりがね」と呼ぶのも雁の鳴き声に風情を感じた証です

ね。また、雁の鳴き声は、春を告げる鶯、夏を告げる時鳥とともに。秋の深まりを告げるもの

でもあります。

その他にも、「雁の使」「かりがね寒き」「雁渡し」「雁風呂」

などという季語もあります。調べてみると面白いですね。

さびしさを日々のいのちを雁わたる

橋本多佳子

雁や残るものみな美しき

石田波郷

一列は一途のかたち雁渡る

西嶋あさ子

LINE

銭屋本舗本館
LINE@



銭屋塾や銭屋カフェの
最新情報やイベントの
ご案内を配信します。

YouTube



ヒトの魅力をぎゅっと詰め込んだ
公式YouTube。
ライブ配信も要チェックです！

銭屋カフェー 06-6770-5770

zeniya_cafe fb.me/zeniyacafe



企画・制作・発行

株式会社銭屋本舗

06-6772-1241

大阪市天王寺区石ヶ辻町14-6

https://zeniyahompo.com/



バック
ナンバーは
こちら





錢屋本舗本館が発信する価値観が、カタチになったモノを集めた商店です。ここではわたしたちが発信する価値観のもと選んだモノについて語ります。



錢屋商店



VOLUME : 035

藍染のアイテムを使ってみた

日本一の藍の産地とも呼ばれる徳島県を拠点に、染色作家として活動されているmacoroonの三木真由美さん。江戸時代から変わらない技法で藍液を仕込み、丁寧に染めた作品を生み出されています。そんな藍染アイテムを実際に使用してみました。



1.リネンストールのカラーは薄藍（淡色）、藍（中間色）、濃藍（濃色）の3種類。中でも濃藍を巻いてみました。さらりとした肌触りで、年中使えるアイテムですね。使い込んでいくと生地が柔らかくなり、染めの色合いも優しい印象になっていきます。 2.綿蚊帳ストールは薄藍の1色のみ展開。リネンストールは60×200cmですが、こちらは100×200cmと大判です。首に巻くのもよし、ひざ掛けにするのもよし、空間を仕切るカーテンにも使えそうです。 3.大判ハンカチのドット小。可愛い小さい粒が魅力的で、私は親戚の小学生にプレゼントしました。今はまだ“藍染”という技法にピンとこなくても、大人になるにつれてその魅力に気付いてくれたらいいな…そんな願いも込めて。ハンカチは大きめのドット柄もありますので、ぜひチェックしてみてくださいね。（文・尾松）

Information 1.商品名：藍リネンストール 素材：リネン100% 2.商品名：藍 綿蚊帳ストール 素材：綿100% 3.商品名：藍 大判ハンカチ ドット小 種類：薄藍（淡色）、藍（中間色）、濃藍（濃色） 商品サイズ：54×54cm 素材：綿100%



商品ページ

手しごとの美しさに触れる5日間

「森の中へ」をテーマに、

木々や草花を感じられるような作品を、日々作っておられる作家さんをお招きした合同展。木・花・土・水・動物：

からインスピレーションを得て生まれた作品が、錢屋ベースソラソウに並びました。

花びら染めの洋服や、刺繍のブローチ、木のスタンドライト。会場に並ぶ作品たちも、

太陽の光がたっぷり入る会場で、生き生きしているように見えました。

また、お立ち寄りいただいたお客様からは「このイベントを目がけて来ました」「作品が生まれる過程や素材のお話

しを聞けて楽しかったです」など、嬉しいお言葉も。作家さんとお客様とを繋ぐイベントを、今後も企画しておりま

すので、ぜひお越しくださいませ！
(文・尾松)

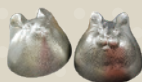


今後のイベント情報は
◀ コチラ



選ぶたのしみ、酒器いろいろ

以前酒場で隣り合わせた方が、自前のぐい呑みを持ち込んでお酒を味わっていたことに胸を打たれ、少しずつ買い集めるようになりました。作家ものから、地元のバザーで見つけた手作り品まで、趣も材質もさまざま。必ず手に取って見て、自身にじっくりくるものを選んでいきます。器の形状によって、お酒の風味や香りの感じられ方にも変化があるそう。気分に合わせて、自由にたのしんでいます。(文・安田)



南館屋上で活動中

銭屋 やさい部 日記

落花生を育ててみました。

落花生の育て方はご存じですか。落花生は意外と家庭菜園でも育てやすく、また育ち方がユニークなもの興味深いところ



す。落花生は花が咲くとやがて土を目指して伸びていき、土の中で実ができるんです！地中で育つ幼虫による食害を受けましたが、やさい部のプランターでもたくさん育ちました。自分で育てると、取れたてで落花生が楽しめますよ！採取したての殻はふか



ふかで、「そらめくんのベッド」(絵本)を思い出しました。そら豆ではないですが、大人になってやっとふかふかのベッドを実感しました。



是非、皆様も一度育ててみてください。(文・前田)



雨あがりの虹

Vol. 57

監修：正木大貴【博士(医学)】

教育関連の制作を仕事とする銭屋本舗の子会社サン・ロワから、子供の成長を支えて晴れやかな日々を送れるような小さなアイデアや提案をお届けします。いろいろある毎日でも、雨上がりには虹が見えますように！



ココロ
コミュ

親子で向き合う

ルッキズム

～親が知っておきたいことと、子どもへのメッセージ～

4
〈最終回〉



ではないでしょうか。

連載の第4回目は、「ルッキズムに関する質問への答え方」を考えましょう。

子どもに

「もっと可愛い(かっこいい)顔に生まれたかった」と泣かれたら…

① 理由を聞く

なぜ、そう思うのか、理由を子どもに聞いてみましょう。考えられるのは「外見についてからかわれた」「友達と自分を比べて、自信がもてない」、あるいは「特定の人に憧れている」などでしょうか。

② 子どもの感情に共感する

「それは嫌だったね」「悲しかったね」など、子どもの気持ちを認めてあげてください。その時、「気にしないで放っておきなさい」などと気持ちを否定したり、批判したりせず、ただ気持ちを受け止めてあげることが大切です。

③ 子どもの良いところを伝える

外見について、「あなたが今、嫌だ

と思っているところも可愛いと思うよ」と、違う見方があることを子どもに伝えます。とはいえ、子どもが納得しないこともあるでしょう。それでも親は「私は、あなたは可愛いと思う」と伝え続けることが大切です。そのうえで、外見以外の価値を教えてあげてください。

「整形したい」と相談された

① 叱ったり批判したりせず、整形したい理由を確認する

整形手術を受けた理由、整形したい部位を確認しましょう。整形手術も負担が軽いものから重いものまでさまざまです。親としては、小学生が美容整形などあり得ないと叱りたくなるかもしれませんが、まず落ち着いて子どもの話に耳を傾けましょう。

② 整形のリスクについて子どもに伝える

近年は美容整形に対するハードルが下がり、身近なものになってきました。また整形手術の技術も向上し、整形を希望する高校生・大学生も増えていきます。しかし、いくら技術が進歩したといっても手術である以上、リスクはゼロではありません

ん。また小学生は心身ともに大きく変化する時期。年齢を重ねた時に思っていた形と変わってしまったら、違うスタイルに変えたいと思ったりすることがあるかもしれません。大人になってから「美容整形を受けてよかった」と思えるのか保証できないということを子どもに話してみよう。

③ 整形でしか解決できない問題なのか、親子で考える

整形したい理由が特定の人物への憧れなら、他人と比較するより外見・内面ともに自分の長所に意識を向けるよう、子どもを導いてあげてください。他人と比べて足りないものにこだわるのではなく、自分が持っているものに目を向けるように伝えましょう。

ルッキズムに捉われたくはありませんが、この問題は社会に深く根付いており、完全に自由になるのは難しいといえます。外見以外の魅力について自信をもつこと、自分なりの軸をしつかり持つこと、また他人を容姿で優劣をつけたり差別したりしないことの大切さを、親子で納得するまで話し合い、理解することが必要ではないでしょうか。



取りまく
環境

ゼニヤの OUTSIDE of ZENIYA

金曜日の人たち



銭屋カフェの金曜日は、コーヒーの道50年のベテランおじいちゃん、中塚さんのサイフォンコーヒーの香りが漂う。「あなたの気分にあったコーヒーを淹れますよ」と、お客様に声をかけ気さくにトークする姿は、とても80代

に見えない。大きなテーブル席には、いつもの顔ぶれ。中塚さんの常連さんたちだ。ご近所さんばかりかと思いきや、電車に乗ってわざわざ訪れるお客様も。人の魅力が、人を引き寄せる…。そういうのって、なんだか素敵だ。

カフェ店内のフラワードザインをしてくださっているマサヨさんもまた、金曜日の人。週に1度、季節の花を美しく可憐に生けてくれる。今週はどんな花だろう？と、出勤時の楽しみのひとつだ。花材に関する話もお聞きできるの

で、少しずつ花の名前を覚えてきたように思う。

忙しく過ぎる一週間の中で、息抜きしたりワクワクしたりする瞬間が、いくつあるだろう。金曜日から、美味しいコーヒーを片手に、花を眺める時間を作りたいものだ。

(文・尾松)



#後で調べるより、 今考える。

社内外の会議で、若者が黙ってメモをとる姿をよく見かけます。どうやら「後で調べよう」と考えているようです。その真面目さは頼もしい一方で、自信のなさにも映ります。たとえ未熟でも、既にある経験や知識を総動員して「いま、この瞬間に考え、言葉という成果を示す」ことに意味があります。正解を求める教育を受けた若者が、つい見落としが



私たちの
価値観

ゼニヤの INSIDE of ZENIYA

ちなのは、会議の、互いの考えを交わし合って新しい気づきを育てる場としての価値です。そこから議論が広がり、本人だけでなく周囲にとっても学びとなります。

これは、私のような年長者にとっても教訓を含んでいます。経験を今に照らすことなく、答えを決めつける根拠にしているのか。年齢を重ね、増えた思い出のアルバムに残る風景はすでにそこには存在しません。けれども、その時々を感じ考えたことは確かに生きており、それを今の言葉として紡ぐとき、経験は豊かさとなり、未来の誰かに活かされるのだと思います。

(文・正木)

みんなの
「ちょっとしたことを
ちゃんと考える」
を繋ぐリレー

#使っている言葉を 見直してみる

大阪で生まれ育った私は、働き始めて日本各地の人と接する中で、自分の言葉に方言が多く含まれていたことに驚きました。「あかん」「おもんない」「ちゃうねん」など、普段使っていた言葉が関西弁だと気づいていなかったのです。他にも、関東から来た人が「おっちゃんと言われて頭にきた！おじさんだろう？」と怒ったことにびっくり。お店の人に「ありがとう！」と言ったら、東北出身の友達に「偉そうだ」と注意されて意味不明でした。

言葉の使い方や受け取り方は地域で異なり、意味が通じなかったり、相手を傷つけたり、誤解させることもあります。外国語を学ぶ大切さがよく言われますが、日本語の多様性も知ったうえで使いこなすことは、とても大切なことだと思います。



(株) サン・ロウ
山田



ZENIYA's ネイバーさん

心の距離のご近所さん



描くことを通して、 人や街とつながる

イラストレーター
山口 さおりさん



銭屋本舗本館と共通の価値観で繋がる心のご近所、ZENIYA'sネイバーさん。今回はイラストレーターの山口さおりさんをご紹介します。

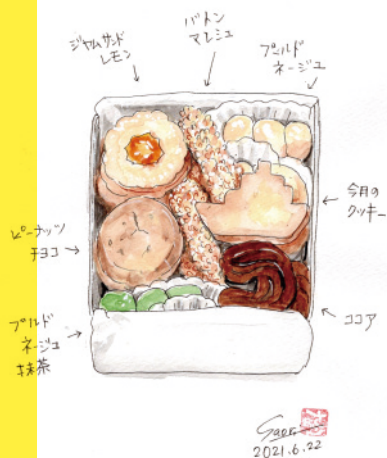
山口さんと銭屋本舗本館との出会いは2017年、オープンして間もない銭屋ギャラリーで開催された初めての個展でした。きっかけはスタッフとの会話。「絵を描いているんです!」という一言からギャラリーへ案内され、「素敵!」と感じていただいたことが始まりです。当時は会社員として働きながら活動の幅を広げていた頃で、その後、コ

ナ禍で開催を見送った2019年を除き、毎年個展が続いています。銭屋本舗本館について何うと「新しいことを取り入れながら、昔の素材も大切に活かしている

ころに共感します」と山口さん。約10年の関わりの中で、街の景色も少しずつ変化してきたのを実感されているそうです。

また、銭屋カフェーとのコラボも印象深い思い出のひとつ。特に「クッキー缶をつくりたい」と依頼されたときはとても嬉しかったそうで、「今ではクッキー缶もブームでいろんなお店から出ていますが、毎月中身が変わるなんて、当時はすごい発想と思った!」と振り返ります。お気に入りのカフェメニューは銭屋プリンと、ナポリタン。変わらない定番の味に安心感を覚えると話してくださいました。

描いて楽しいモチーフもまた、



2021.6.21



た、職人やスタッフがひとつひとつ手作りしたもの。大量生産にはない温かみを感じられることが大切なのだそうです。「デジタルで便利に描ける時代ですが、紙とペンで描くことで、その温もりを絵に込められる気がします」と山口さん。アナログにこだわるのは、作品に手作りのあたたかさを残したいからなのかもしれません。

これまで描くことを通じて、人や街とのつながりを紡いできた山口さん。来年金屋ギャラリーでの個展開催は10回目を迎え、毎朝続けてきたスケッチは通算2000回に達する予定です。今年の2025年11月には8回目の個展を予定しています。これからも「描くこと」が、人と街を結び架け橋となっていくでしょう。

(文・小山)



SAORI ART 第8回

『屋久杉と美味しいもんスケッチ展』

